

交通安全 News

令和4年9月発行

夏休みが終わってもまだまだ暑い日が続きますが、少しずつ、日が暮れる時間は早くなってきました。

暗くなってから自転車を運転する機会が増えてくると思われますので、児童、生徒に対して、ブレーキやタイヤだけでなく、ライトや反射器材の不備がないか、しっかりと自転車の点検を行うよう指導をお願いします。

自転車の点検は、「**フタはしゃべる**」と覚えてください！

自転車の点検を確実にできるように点検箇所の頭文字をつなげた標語があります。

- ㊦レーキ・・・前後ともよく効くか、自転車を押しながらブレーキをかけて確認しましょう。
- ㊧イヤ・・・空気が入っているか、タイヤの溝があるか、指でつまんで、目で見て確認しましょう。
- ㊨射器材・・・自動車のヘッドライトをよく反射するように反射器材に破損や汚れがないか確認しましょう。
- ㊩車体・・・車体の異常はないか、サドルをまたいだ時に両足が地面に着くかを確認しましょう。
- ㊰ベル・・・ベルがよく鳴るかを確認しましょう。

楽しく、覚えやすいので、是非参考にしてください。



自転車のライトには、暗くて視界の悪い道を走るときの役割として、

- ・ 自分の進行方向を照らすこと
- ・ 他の人に自転車が走っていることを知らせること

が挙げられます。

暗くて視界の悪い道では、ライトや反射器材を十分に活用して、

- ・ 自分の進行方向の歩行者や障害物をいち早く見つける
- ・ 右左や後方から進行してくる車両などにいち早く自分の存在を知らせる

ことが、事故防止の上で肝心です。



タイヤの車輪（スポーク）につけるサイドリフレクターも効果的です。

自転車に乗車する際は、大人も子供もヘルメットを着用しましょう！

山口県警察

